

第81期

報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



初夏の青木湖と残雪の北アルプス

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第81期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。当期におけるわが国経済は、全国的には引き続き緩やかな回復基調で推移し、日経平均株価も全体的には上昇基調となっております。しかしながら、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が思いのほか長期化し、特に地方では回復の実感に乏しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは従来より提案してまいりました「エネルギーのベストミックス」を基本に、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様のニーズに対応したトータルな提案営業を積極的に行い、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、徹底したコスト削減と適正利益の確保に努めるとともに、新規にメガソーラー発電専業の子会社を立ち上げ、当期初より順調に稼働しております。

なお、当期の期末配当金につきましては、株主の皆さまのご支援・ご期待にお応えするため、1株当たり18円とさせていただきました。

サンリングループは、クリーンで安全便利なエネルギーを安価で安定的に供給し、エネルギー販売を通じてお客様のニーズに沿ったサービスを提供するとともに、環境負荷の低いエネルギーの普及推進とエネルギー利用の高効率化を促進することにより、衣食住を含めた地域密着型生活関連総合商社として、企業価値の向上に努めてまいり所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

柳澤勝久

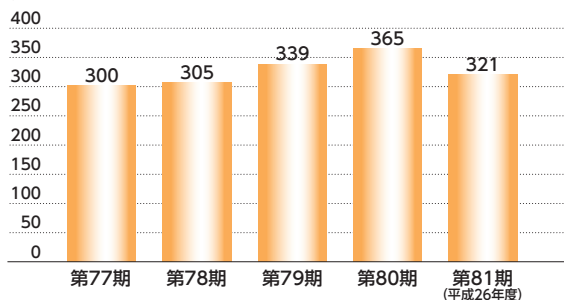
平成27年6月



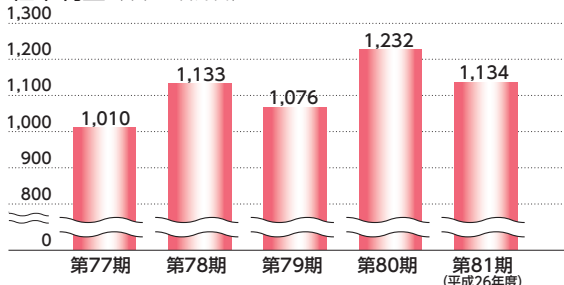
営業の概況(連結)

■財務ハイライト

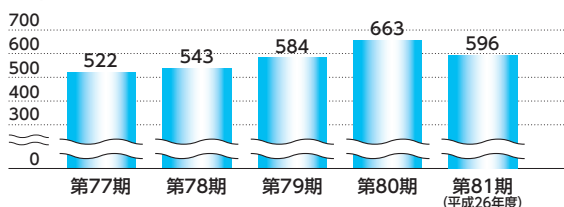
売上高 (単位: 億円)



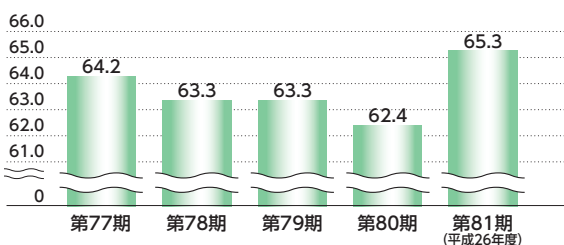
経常利益 (単位: 百万円)



純利益 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



石油事業におきましては、構造的な需要の減少が進行する中、消費税増税前の駆け込み需要の反動に加えて、原油価格の急落による影響から需要期の冬場においても販売価格の下落が続いたことで厳しい事業環境となりました。このような中において当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めてまいりました。また、給油所再編の一環として、周辺環境の変化と需要動向の見地から、当社長野インター給油所と旭ヶ丘給油所を閉鎖する一方、増販対策として、セルフスタンドである長野給油所を、簡単にスピーディーな決済ができるセルフサービスブランド「エクスプレス」に改装いたしました。

LPガス事業では、LPガスの輸入価格下落に伴う販売価格の引き下げや、仕入価格の値下がりによる棚卸影響から売上原価が増大したこと等により厳しい収益環境となりましたが、引き続き販売店と一体となったキャンペーンを実施し、ハイブリッド給湯器「ECO-ONE」等の最新の高効率燃焼機器の提案営業による普及拡大を図るとともに、LPガス顧客基盤の拡大や顧客接点強化による既存顧客の深耕に努めました。また、認定販売事業者として保安の高度化をさらに進めるため、LPガス保安確保機器の普及促進に注力した結果、当期末における認定対象先は76%を超えております。

リフォーム事業におきましては、4月の消費税増税の反動と一般ユーザーの節約志向が高まったことが要因となり、金額ベースでは前年を割り込む結果となりましたが、完工物件数ではほぼ前年並みを確保することができました。

太陽光発電につきましては、自社施工体制の拡充を図り着実に完工実績をあげることができました。また当期には、発電専業の子会社サンネックスパワー駒ヶ根(株)によるメガソーラーの設置及び自社用地への発電設備の設置にも努め、天候等の影響はあったものの概ね順調に稼動しております。

これらの結果、当年度の連結業績につきましては、売上高は前期比12.1%減の321億21百万円、経常利益は前期比8.0%減の11億34百万円となり、当期純利益は前期比10.1%減の5億96百万円となりました。

財務指標

連結貸借対照表(要旨)

当 期 末 (平成27年3月31日現在)
前 期 末 (平成26年3月31日現在)

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	当期末	前期末	当期末	前期末
資産の部				
流動資産	10,687	11,292	6,357	7,212
現金及び預金	5,540	4,564	支払手形及び買掛金	1,919
受取手形及び売掛金	3,248	4,576	短期借入金	3,004
商品及び製品	1,431	1,615	1年内返済予定の長期借入金	192
仕掛品	26	20	未払法人税等	149
原材料及び貯蔵品	124	187	賞与引当金	289
繰延税金資産	147	150	その他の流動負債	801
その他の流動資産	174	187	固定負債	1,776
貸倒引当金	△ 5	△ 10	長期借入金	496
固定資産	12,804	12,654	退職給付に係る負債	725
有形固定資産	8,630	8,378	役員退職慰労引当金	185
建物及び構築物	1,887	1,786	資産除去債務	24
機械装置及び運搬具	648	624	繰延税金負債	113
工具、器具及び備品	579	340	固定資産解体費用引当金	36
土地	5,465	5,617	その他の固定負債	194
建設仮勘定	50	9	負債合計	8,134
無形固定資産	102	164	純資産の部	
投資その他の資産	4,070	4,111	株主資本	14,956
投資有価証券	3,681	3,688	資本金	1,512
繰延税金資産	76	102	資本剰余金	1,245
差入保証金	180	191	利益剰余金	12,206
その他の投資その他の資産	170	207	自己株式	△ 8
貸倒引当金	△ 38	△ 78	その他の包括利益累計額	372
			その他有価証券評価差額金	329
			退職給付に係る調整累計額	42
			少数株主持分	29
			純資産合計	15,358
資産合計	23,492	23,947	負債純資産合計	23,492

財務指標

連結損益計算書(要旨)

当期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
 前期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当期	前期
売上高	32,121	36,537
売上原価	25,222	29,586
売上総利益	6,899	6,951
販売費及び一般管理費	5,964	5,936
営業利益	934	1,015
営業外収益	222	249
営業外費用	22	31
経常利益	1,134	1,232
特別利益	100	90
特別損失	205	196
税金等調整前当期純利益	1,030	1,126
法人税等	339	387
少数株主損益調整前当期純利益	598	664
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	1
当期純利益	596	663

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)
 前期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

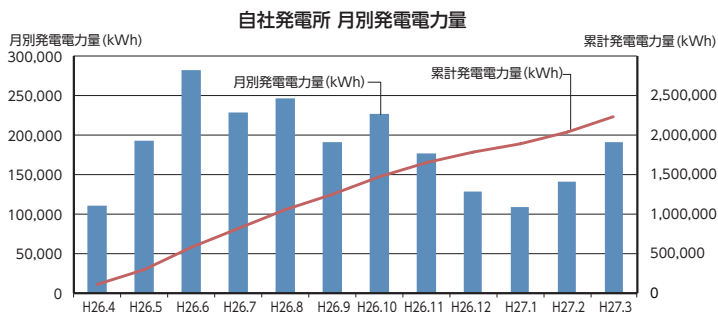
(単位:百万円)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,902	994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 703	△ 1,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 345	147
現金及び現金同等物の期末残高	3,666	2,690

トピックス

◆太陽光発電システムによる環境貢献

下期においては新たに4件の自社発電所が運転開始となり、自社発電所は合計10件となりました。これにより、自社発電所の総発電能力は約2.4MWとなり、毎日一般家庭約670軒分(1日約7,800kWh)の電気を作っております。これはドラム缶約2,700本分の原油から排出される二酸化炭素約750tを削減していることとなります。



自社物件第9号平瀬発電所

- *1 「一般家庭の平均年間電力消費量」は4,209kWh/年
(省エネルギーセンター：待機時消費電力調査報告書による)
- *2 太陽電池による原油、CO₂削減効果
1kWシステム当たり年間で原油227L、二酸化炭素314.5kg
で換算(太陽光発電協会による)

◆新CM放映開始

このたび、新たにテレビCMを作成いたしました。新CMは「生活関連編」と「エネルギー編」の2つの構成となっており、皆様の暮らしに様々な形でお役に立ちたいというメッセージと、社員が出演することで実際に携わる人間の顔が見える内容となっております。



エネルギー編

生活関連編

◆松本山雅FCサポートショップ参入

このたび、山雅後援会に加入をし、和田SS及びサンリン松本エネルギー(株)ウェルカムステーションの2SSを松本山雅FCサポートショップとして登録いたしました。クラブガンズ会員特典として会員証ご提示にて各種割引特典をご用意しております。今後も地域に根差したサービスステーションを目指してまいりますので、変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



株式の状況 (平成27年3月31日現在)

■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	719名

■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
株式会社八十二銀行	575	4.7
曾根原充夫	558	4.5
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,763	55.0
金融機関	2,108	17.1
その他の国内法人	3,406	27.7
自己株式	16	0.1
その他	6	0.0

■配当性向(連結)

第77期	第78期	第79期	第80期	第81期 (平成26年度)
40.1%	39.3%	37.7%	35.1%	37.0%

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 492名 (グループ人員)
- 事業の内容 / 石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

■役員状況 (平成27年6月24日現在)

代表取締役社長	柳澤勝久
代表取締役専務	川窪磯男
常務取締役	大槻清人
常務取締役	塩原規男
常務取締役	茂木誠
取締役	田島晃平(社外取締役)
取締役	須澤孝充
取締役	高野朗
取締役	金井正章
取締役	中村章
常勤監査役	坂内富夫
常勤監査役	川岸隆
監査役	山根伸右(社外監査役)
監査役	井口秀昭(社外監査役)

■子会社等 (平成27年6月24日現在)

- 三鱗運送株式会社(一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社(管工事業)
- 富山サンリン株式会社(燃料等卸小売業)
- サンエネック株式会社(LPガス容器等賃貸業、不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社(LPガス充填業務)
- サンリン松本エネルギー株式会社(燃料等卸小売業)
- 田中製氷冷凍株式会社(氷製造卸、冷蔵倉庫業)
- 株式会社一実屋(青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社(太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社(燃料等卸小売業)

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sanrinkk.co.jp/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

営業拠点



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。